

議会だより



主な内容

- 町政に対する一般質問…………… 2ページ
- 常任委員会委員長レポート…………… 5ページ
- 平成29年度各会計の決算を認定…………… 7ページ
- 全員協議会報告／
地震・津波対策特別委員会報告…………… 9ページ
- 第2回市町村議会議員特別セミナー／
徳島県知事及び板野郡各町議長・副議長事業
意見交換会…………… 10ページ
- 四国四県町村長・議長大会／
第59回四国地区町村議会議長会研修会…………… 11ページ
- 松茂町議会議員視察研修／編集後記…………… 12ページ

広島某所にてコウノトリ飛来
撮影協力・渡辺信之氏

「い」が知りたい!!

町政に対する 一般質問

本年3回目の定例会が9月6日から20日にかけて開催されました。2日目に当たる7日には一般質問が行われました。

今回も、町民の皆様がわかりやすい行政情報に接することで、日ごろは充実した健康的な生活を、災害時には安心して生活を送れるように、熱意のある質疑応答がなされました。

議会会議録は
松茂町立図書館に
12月に配置します

川田 修 議員



1 松茂町災害廃棄物処理計画について

問 「災害ごみ処理計画初動に遅れ」、「仮置き場選定に時間」と大きな見出しで新聞記事

が出ていた。7月17日の徳島新聞です。全国の市町村のうち処理計画策定済みの自治体は、昨年3月時点で24%とのこと。松茂町は昨年3月に策定されており、議会に対しても説明がありました。指摘していた問題点（初動対応）は、災害ごみの仮置き場がすぐに確保できるか、収集運搬の方法が示されているかということ。処理計画では、候補地の条件等は明示しているが、どの土地を考えるかとか優先順位をつけるかまではできていないし、町有地以外の場所で協定を結ぶなどできておりません。また、二次集積所の候補地として工場団地の未利用地や徳島東部一般廃棄物処分場の埋め立て完了部分などを念頭に置いて

いるのか。そうであるなら、早急に協定を結んでおく必要があると思う。町の見解を求めます。

答 優先順位をつけ用地確保

災害廃棄物処理実行計画において、災害ごみ処理に向けた初動対応と収集運搬については、まず初動対応として、平常時には、発災時に備えて組織体制を定めて、連絡網、手順を確認しておくとともに、災害廃棄物等の発生量を推計し、仮置き場候補地の選定を行うこととしております。また、収集運搬の方法は、優先的に回収する災害廃棄物の種類、必要な機材、収集運搬方法・ルート等について、想定することとしております。

同計画の策定時において、仮置き場候補地としての調査を行っており、リストアップした候補地を諸条件により絞り込みを行い、順位づけとして、「可能性あり」「要検討」「可能性低い」に分類しております。町有地以外の公共施設用地についても、一番最初に搬入できる用地の確保をしているところ。また、その他の候補地については、調整、確認作業を行いながら、



東部処分場

一時仮置き場や集積所として利用させていただけるかどうか協議を行いながら、可能であれば協定の締結を進めてまいります。

佐藤 富男 議員



1 冷暖房空調設備の設置について

問 今年の夏は、連日の猛暑日が続きました。100回目の全国高校野球選手権記念大会においても、徳島新聞主催のこども野球のつどいでも、給水タイムが設けられる等、熱中症対策が設けられました。

そこで、周辺の自治体の学校、体育館における空調設備を調査しました。学校体育館に空調設備を設置しているところは一つもない。一方、公共体育館では、新設の体育館には空調設備が設置されているところがありました。

町長は、先の選挙の際の所信表明で、本町を「スポーツの町・松

茂」として活性化し、町民の心と体の健康づくりを推進するとともに、我が松茂町の名を全国へ情報発信していきたいと考えております。」と表明しています。

実際、町の総合体育館、第二体育館の施設は、全国に誇り得る規模の施設として各種大会開催の引き合いも多いが、今年のように猛暑日の多い季節には、冷房設備のある他市町の体育館に集中して開催されるのではないかと危惧する。現在、全国で学校における空調設備の普及率は50%を超えたところですが、我が松茂町は、各小学校、中学校の普通教室は100%設置済みです。他市町に先駆けて町の小中学校体育館、総合体育館及び第二体育館に空調設備を設置していただきたい。

答 建て替え時に検討

今年の夏も異常なほどの猛暑日が続く、町教育委員会から各幼小中学校や各体育館に熱中症対策について、注意を促してきたところです。

全国及び県下公立学校施設の空調設備設置状況は、教室の空調設備の設置率に比べ体育施設の設置

率は非常に低いのが現状です。

町内現有の各小中学校体育館4館、総合体育館及び第二体育館に冷暖房空調を設置する費用は、概算で合計約5億円になります。ただ、小中学校の体育館は建築後40年以上経過しているため、現有の施設への冷暖房空調を設置は考えていません。今後建て替えの際には、検討項目のひとつとして考えていきます。また総合体育館及び第二体育館も同様に検討していきます。

都会と地方でのスポーツを取り巻く環境で一番違う点は、都会では一流選手による試合を観戦する機会に恵まれているのに、地方ではその機会がなかなかないことです。町長として、このような機会をぜひ町の子どもたちに与えたいという夢を持っていきます。そのため、今後は大きな大会も開催でき、観戦の環境も充実した、いわゆるアリーナ、あるいはスタジアムを考えています。現在の総合

体育館も建築後38年が経過してきますので、建て替えの際には、このような施設に替えたいと考えています。学校体育館等の建て替えについては、これから毎年1億円の基金を積み立ててまいります。



松茂町第二体育館

板東 絹代 議員



1 魅力ある情報発信を

問

先日、ホームページの検索で疑問を感じた点があります。それは、「松茂町暮らしの便利帳」の子どもの健診欄に新生児聴覚検査の記載がされていないため、ホームページ上で調べると「健康・福祉」の中の「健康」の新着情報にありました。その中には高齢者の予防接種、各種検診、第2期保健事業実施計画などがありますが、更新日が2015年であり、新着情報に入れる項目なのででしょうか。各項目で分類できないのでしょうか。文字の配列だけではなく分類して写真を入れる等、ちよっとした工夫でインパクトが違ってくると思います。情報は、見る人が検索しやすく、わかりやすく充実

答

記事更新システム等を改良し、見やすいホームページにする

議員のご指摘を真摯に受けとめます。

町では、平成27年12月に県内他自治体の多くが採用しているホームページの記事更新システムを導入し、運用してきました。そこでは、新着情報は町のトップページの「新着情報欄」とともに、各関連分野のページの「新着情報欄」に掲載されるようになっていますが、議員もごらんになったように、健康に関する記事なら全て、健康分野の「新着情報欄」に掲載されてしまいます。調べたところ、同様なことは他の分野でも散見され、これが検索しづらさにつながっているかと認識したところです。

これを受け、町では近く、記事更新システムの改良を行います。この改良では、各分野・各課のページの構成を見直すほか、新着情報と長期安定的に提供す

した情報発信をするとともに、本気で松茂町を魅力ある町にしたいという思いで情報発信の強化に努めていきたいです。

べき定番情報の分類のあり方を再検討し、掲載することで、利便性、検索性の向上に努めます。ちなみに、この改良は、現在、国から官庁・自治体ホームページのセキュリティ強化、例えば常時暗号化等への早急な対応を求められているので、それとともに行いたいと思います。

また、システムを改良しても、実際に記事を書くのは職員です。そのため、職員を対象とした記事更新システムの講習はもとより、見やすくわかりやすい記事の書き方の講習会を継続的に実施し、職場内で他職員に指導できるように



2 子育てガイドブック作成について

問

妊娠期から子育て期にわたるまでの届け出申請、健康など切れ目ない支援サービスに関する情報を掲載した子育てガイドブックを作成し、松茂町で行っている子育て支援を知っていただき、利用してもらうことで子育ての役に立つ応援ブックを作成しませんか。心配事や困ったことなどに活用していただけるように、妊娠届け出時に母子手帳とブックを渡し、はどうでしょうか。出産から育児までの流れがよくわかり、準備ができると思う。特に松茂町に転入された方は喜んでいただけると思います。ブック作成についてお伺いします。

答

既存リーフレットを改善、充実を図る

現在、町では、子育てに関する

人材の育成にも努めます。以上のように、今後、システム、人材育成の両面で、町のホームページ充実への取り組みを進めてまいります。



地域子育てセンター 行事の様様

各種事業や手当、例えば乳幼児健診、児童手当等については、該当者に個別通知でお知らせするなど、きめ細かいサービスを実施しています。また、子育て世代の若い方々は、スマートフォンやパソコンで情報収集するのになれています。

したがって、町としては、現在のところ、子育てガイドブックの作成は考えていませんが、出産、子育てを行う保護者の不安・悩みの軽減のため、情報提供の重要性は十分認識しています。そこで、ガイドブックを作成するかわりに、子育てに関するホームページの内容の充実を図るとともに、議員ご指摘の「妊娠された方へ」等、既存のリーフレットの記事の表示のあり方、内容の改善・充実を図りたいと考えています。

常任委員会

委員長レポート

第3回定例会の議決の結果、同意第5号の1件、報告第5号～7号の3件については、原案どおり可決しております。

委員会付託案件以外で審査し、可決した内容

同意第5号	教育委員会委員の任命について
報告第5号	平成29年度健全化判断比率の報告について
報告第6号	平成29年度資金不足比率の報告について
報告第7号	町の私債権放棄の報告について

総務常任委員会

委員長 板東 絹代

付託された議案1件は、原案のとおり可決いたしました。この審議について報告いたします。

平成30年度松茂町一般会計補正予算(第2号)(所管分)

地方債の補正は、町が管理する公共施設のブロック塀の改修工事施工に伴うもので、緊急防災減災事業債として790万円を限度として必要額を借り入れ、今回は、喜来小学校、松茂小学校、松茂中

学校、東部学習センターのブロック塀について改修をするものです。歳入の県支出金、進化するしくしませ口作戦緊急対策事業費補助金で、3万6000円の増額補正は、ブロック塀改修工事のうち、工事費が20万円以下で撤去のみとなる工事が対象であり、喜来小学校のブロック塀改修工事の内、取り壊し・撤去のみとなる部分について施工するためのものです。雑入で、2015万9000円の増額補正は、公共下水道特別会計など、各特別会計の平成29年度決算確定に伴い、繰越金の返納によるものです。

歳出の財産管理費で9万円の増額補正は、青色防犯パトロールに使用する車輛の保険料等です。繰出金で280万3000円の増額補正は、各特別会計の補正に対応するため行なうものです。

なお、この議案についての質疑はありませんでした。

産業建設常任委員会

委員長 立井 武雄

付託されました議案6件は、原案のとおり可決いたしました。

この審議の中での主なものを報告いたします。

平成29年度松茂町水道特別会計未処分利益剰余金の処分について

地方公営企業法第32条第2項の規定により、平成29年度松茂町水道特別会計決算に伴い生じた剰余金を処分するものです。

未処分利益剰余金の当年度末残高は1億790万5396円で、このうち2000万円を減債積立金に、8000万円を建設改良積立金にそれぞれ積み立て、残り790万5396円を繰越利益剰余金として繰り越すものです。

平成30年度松茂町一般会計補正予算（第2号）（所管分）

歳入の国庫支出金、木造住宅耐震化促進事業補助金で168万9000円の増額及び県支出金の木造住宅耐震化促進事業補助金で89万2000円は、補助件数の増加にあわせて、国及び県からの補助金を追加するものです。

雑入で公共下水道及び農業集落排水特別会計繰越金返納金は、平成29年度の決算により一般会計に返納するものです。

歳出の住宅管理費の負担金補助及び交付金で330万円の増額補正は、耐震改修やリフォームなどの補助事業件数の増加によるものです。

主な質疑事項

Q 耐震診断については建設課が担当ですが、民間のブロック塀撤去の補助については、どの課が担当になるのですか。

A 民間ブロック塀撤去の補助金は、県が9月補正で行いますので、町も12月補正で予定しております。それまでに担当課を決定します。



民間ブロック塀

平成30年度松茂町長原渡船運行特別会計補正予算（第1号）

歳入の繰越金で268万5000円の増額補正は、平成29年度の決算によるもので、歳出で同額を予備費に充てるものです。

平成30年度農業集落排水特別会計補正予算（第1号）

歳入の繰越金で62万6000円は、平成29年度決算によるもので、歳出で同額を一般会計繰入金返還金として増額補正するものです。

8月末日の接続状況については、長岸地区、中喜来地区、北川向地区の3地区の合計は325戸で、接続率は約75%です。

平成30年度松茂町公共下水道特別会計補正予算（第1号）

歳入の繰越金で185万5000円は、平成29年度決算によるもので、歳出で同額を一般会計繰入金返還金として増額補正するものです。

8月末日の接続状況については、公共汚水ます設置戸数、1144戸に対して、接続完了戸数が648戸で、接続率は約57%です。

平成30年度松茂町水道特別会計補正予算（第1号）

建設改良費で配水管布設替えのための設計費669万6000円を増額するものです。

教育民生常任委員会

委員長 川田 修

付託された議案4件は、原案のとおり可決いたしました。この審議の中での主なものを報告いたします。

平成30年度松茂町一般会計補正予算（第2号）（所管分）

歳入の児童福祉費負担金で336万3000円及び教育使用料で151万2000円の減額補正は、徳島県が3歳から5歳までの第3子以降の児童を対象とし、市町村

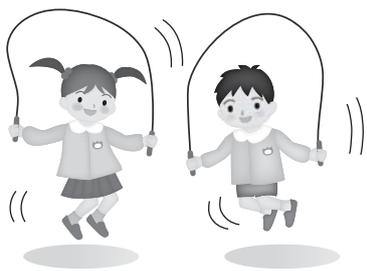
が実施する保育料及び幼稚園使用料無料化に対する助成について、10月から第2子まで拡大することに伴い、本町におきましても現行どおり所得制限を設けず、第2子以降を無料とすることによるものです。

県支出金の児童福祉費補助金で160万3000円の増額補正は、阿波っこはぐくみ保育料助成事業補助金として、徳島県の助成制度拡大により95万円が保育料に、65万3000円が幼稚園使用料に対する増額分です。

主な質疑事項

Q 第2子以降無料化に伴う対象人数は何人ですか。

A 保育所の児童が30人、幼稚園の園児が76人です。



歳出の中学校管理費、工事請負

費479万5000円の増額補正は、中学校グラウンド南側のブロック塀を改修するためのものです。

幼稚園管理費の扶助費で23万2000円の増額補正は、第2子無料化に伴う私立幼稚園での就園奨励費の給付対象園児の拡大の見込みにより増額するものです。

平成30年度松茂町国民健康保険特別会計補正予算(第2号)

歳入の繰越金で277万8000円の増額補正は、歳出補正の財源として、前年度繰越金を充てるものです。

歳出の償還金で277万8000円の増額補正は、平成29年度の実績により、超過となった退職者医療療養給付費交付金を返還するものです。

平成30年度松茂町介護保険特別会計補正予算(第1号)

歳入の過年度分地域支援事業支援交付金17万7000円の増額補正は、平成29年度の精算に伴う支

払基金から追加交付があったことによるものです。繰越金3714万円の増額補正は、実績による繰越金の増額です。

平成30年度松茂町後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)

歳入の繰越金で223万3000円の増額補正は、平成29年度決

算によるものです。

歳出の広域連合納付金で、平成29年度会計で収納した保険料を広域連合に納付するための64万6000円の増額です。また、決算に伴う事務費等の残額158万7000円を一般会計へ返還するものです。

平成29年度各会計の決算を認定

決算審査は、議会が決定した予算が適正に執行されているかどうかを審査するとともに、住民にかわって行政効果を検証するものです。

町長から監査委員の意見をつけて提出された8会計の決算認定は、第3回定例会において全てが認定されました。

監査委員
・日根啓一
・佐藤富男

決算審査の結果

平成29年度一般会計及び特別会計の歳入歳出決算書について、関係諸帳簿、証拠書類等と照合した結果、収支計数は正確であり、予算の執行についても適正なものと認めます。

決算審査で付された意見

ただし、次の諸点については、一層の努力を望みます。

一般会計

歳入において前年度より約8億

12・4ポイント減となっております。前年度と比較して減額の理由は、役場本庁舎改築や中喜来地区の津波避難タワー建設など、大型事業が平成28年度において完了したためであります。各年度において、国庫補助事業等により増減はありますが、平成29年度においては、歳入の減少が歳出の減少を1ポイント下回っております。実質収支額は1億3847万9613円（前年度6808万7001円）の対前年比増となっております。

厳しい財政事情の中、今後とも積極的な自主財源の確保に努め、限られた財源を効率的に活用し、大きな効果が上げられるよう、各種事業を展開してまいります。

町税については、約1900万円の減収になっております。徴収率は98・5%（前年度98・2%）と、県下では高い徴収率が維持できています。経済情勢が厳しい中、徴収が難しい状況であります。現行分、滞納繰越分ともに差し押さえ等の滞納処分も含め徴収向上対策が認められます。公平性と歳入確保のためになお一層の努力を期待します。

町営住宅使用料について、過年度滞納が見られます。公平性と歳

入確保のため、引き続き徴収努力をお願いいたします。

財政の弾力性及び硬直性を判断する経常収支比率は77・8%と前年度より1・2ポイント上がっております。通常75%程度に収まることを望ましいと考えられており、数字が高いほど財政が硬直化していることとなります。本町の場合、望ましい数値となっておりますが、依然として厳しい財政運営になるので、経常支出を抑制し、引き続き財政の健全化に一層努力してまいります。

国民健康保険特別会計

保険税の収納状況については、前年度に比べ収入未済額は0・2ポイント減少しておりますが、収入未済額のうち、滞納繰越分の占める割合は78・1%となっております。今後、厳正・的確な滞納整理により、滞納繰越分の圧縮を図るよう、一層の努力をしてください。また、増え続ける医療費の抑制を図るため、健康増進事業の推進等に努めてください。



介護保険特別会計

保険料の収納状況については、前年と同水準となっております。引き続き徴収率向上に努力していただき。今後も財源を確保し、制度の円滑な運営に努めてください。

後期高齢者医療特別会計

高齢化社会がますます進むことが予想される社会状況であります

ので、高齢者の健康維持に努め、医療費の抑制を望みます。

長原渡船運行特別会計

良好な運営ができており、引き続き渡船の安全運行に努めてください。



認定第1号	平成29年度松茂町一般会計歳入歳出決算認定
認定第2号	平成29年度松茂町国民健康保険特別会計歳入歳出決算認定
認定第3号	平成29年度松茂町介護保険特別会計歳入歳出決算認定
認定第4号	平成29年度松茂町後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算認定
認定第5号	平成29年度松茂町長原渡船運行特別会計歳入歳出決算認定
認定第6号	平成29年度松茂町農業集落排水特別会計歳入歳出決算認定
認定第7号	平成29年度松茂町公共下水道特別会計歳入歳出決算認定
認定第8号	平成29年度松茂町水道特別会計決算認定

農業集落排水特別会計 公共下水道特別会計

将来にわたり公債費の償還が続き、一般会計からの繰出金が継続されることとなります。本町の財政環境に非常に大きなウエートを占めることになるので、加入促進に努め、長期的な継続事業として、効果の高い計画的な事業の遂行を望みます。

水道特別会計

健全な経営ができており、水道料金の収納率も良好であると認められます。引き続き配水管及び石綿セメント管の布設替えを実施し、安全な水が安定的に供給されることを望みます。

健全化判断比率及び 資金不足比率の報告

財政状況の基準を示す数値で、それぞれに良好な数値が維持されており、財政が極めて健全な自治体であると認められます。



全員協議会報告

平成30年9月6日に議員全員、町長はじめ担当課職員出席のもと、町づくりにかかわる重要事項について協議いたしましたので、主な内容を報告します。

ブロック塀点検結果の 報告と対応について

大阪北部地震における痛ましい事故を受け、町有施設におけるブロック塀緊急点検を行い、現行の建築基準法に適合しないブロック塀が10施設あり、延長は1549・2メートルでした。

まず、松茂小学校と喜来小学校



喜来小学校ブロック塀（修繕中）

の通学路に面している96・7メートルの部分は、危険度が高いと判断し、既に改修工事を発注しています。また、松茂中学校と東部学習センターの公道に面している142・82メートルの部分は、9月議会の補正予算で計上しています。残りのブロック塀については、平成31年度から年次計画を立て、順次改修工事を行っていきます。

松茂町企業立地奨励要 綱について

松茂町に一定の条件を満たした事業所等を設置しようとする企業に対し、必要な奨励措置を講ずることにより、企業立地を奨励する



松茂町工業団地

とともに、新たな雇用創出による町民の安定した雇用の場を提供し、本町の均衡ある発展を図るため、新たに「松茂町企業立地奨励要綱」を策定しました。この要綱による奨励措置は、固定資産税の減免及び雇用奨励金の交付となります。

地震・津波対策 特別委員会報告

平成30年9月6日に委員会を開催しましたので、内容を報告します。

災害時における議員行動 指針について

地震や水害等により松茂町災害対策本部が設置された場合において、これを支援及び協力するため、必要に応じて松茂町議会内に災害対策本部を設置する指針作成のため、基本方針、災害対策本部の組織及び議員の行動などについて議論を行いました。



8月2日、3日の2日間、滋賀県大津市の全国市町村国際文化研修所において、「第2回市町村議会議員特別セミナー」が開催され、全国から239人、徳島県からは阿波市議会2人、松茂町議会から原田幹夫議員が参加しました。

開講後は、「豊かな長寿社会を将来の世代に」と題した講演が清家篤慶応義塾大学客員教授からあり、その後、池田憲治全国市町村国際文化研究所学長より「地方行政を取り巻く状況と地域づくり」についての話がありました。

翌日は、山田啓二京都産業大学学長補佐より「変化する地方行政とその対応」、パラアイスホッケー銀メダリスト永瀬充アドバンザーより「インクルーシブ社会に向けて」についての講義を受けました。2日間という短い日程ではありましたが大変充実したセミナーでした。



▲
原田議員

徳島県知事及び板野郡各町議長・副議長 事業意見交換会

8月27日、板野町天満において、「徳島県知事及び板野郡各町議長・副議長事業意見交換会」が開催され、本町から藤枝議長、佐藤道昭副議長が出席しました。

この意見交換会は、板野郡の議長・副議長が一堂に会し、県有の道路、河川など、各町のさまざまな課題について、毎年知事に対しまして要望事項を提示しております。

松茂町からは、①ブロック塀等撤去及び改善に伴う補助金の交付について、②県管理河川の維持管理について、③徳島県道220号川内大代線の道路改良について、それぞれ要望し、意見交換をしました。



佐藤道昭副議長

徳島県知事

藤枝議長

四国四県町村長・議長大会

9月26日、徳島市の徳島グランヴィリオホテルにおいて、「四国四県町村長・議長大会」が開催され、本町から吉田町長、佐藤道昭副議長が出席しました。

この大会は、四国の町村長・議長が一堂に会し、町村の抱える重要課題について決議するとともに、決議の実現のためお互いに連携を密にしながら行動し、多様で個性豊かな町村自治の振興と住民福祉の向上を期することを目的としています。

大会での決議内容

- **決議事項**
 - ・ 地方財政の充実・強化及び地方創生の推進について
 - ・ 医療・福祉施設の充実強化について
 - ・ 南海トラフ地震対策及び防災・減災対策の充実強化について
 - ・ 四国地方の交通基盤等の整備促進について
 - ・ 農林水産業・地域の活力創造について
- **参議院選挙の合区の見直しに関する特別決議**
- **「四国八十八箇所霊場と遍路道」に関する共同アピール**



10月18日、高知県立県民文化ホール「オレンジホール」において、「第59回四国地区町村議会議長会研修会」が開催され、本町から藤枝議長が出席しました。

開会后、自治功労者表彰式を行い本県から13名表彰されました。

その後、2名の講演があり、「既存メディア総崩れで日本のジャーナリズムはどこへ行く?」、「政権の課題と展望～日本周辺で何が起きているのか?」と題した講演でありました。



第59回四国地区町村議会議長会研修会

松茂町議会議員視察研修



宮城県柴田町



青森県六戸町

10月10日から12日の3日間、宮城県柴田町、青森県六戸町において行政視察研修を実施しました。
宮城県柴田町では「議会改革の取り組み、議会用災害対策行動マニュアル」について、基本条例制定の問題点やマニュアル作成などの説明を受けました。
青森県六戸町では「地域住民との意見交換会」について、意見交換会の内容や開催に関する課題など説明を受けました。
このたびの視察研修で学んだことを今後活かしていきたいと思えます。



編集後記

今年もあと1カ月余りとなりました。今年は大阪北部地震、北海道胆振東部地震、西日本豪雨や台風が二度、三度と日本列島を襲うなど、自然災害の恐ろしさを見せつけられ、日本中で甚大な被害が出ました。国及び地方自治体が一体となり、一日も早い復旧をお願いしたい。

さて、話題を変えさせていただきます、今、国（総務省）において、ふるさと納税制度の見直しを進めている。過熱する返礼品競争に歯止めをかけるため、返礼品は地場特産品に限定し、納付額の30%以下にするよう法制化し、違反した自治体は制度から外し、寄附しても税の優遇措置を受けられなくなる方向だ。ふるさと納税は、知恵を絞って財源を確保し、地域振興に一定の役割を果たしてきたのに、法による規制が地域のやる気や創意工夫をそぐようなことがあってはならない。国は、自治体の声にもっと耳を傾け、地域の実情に合った制度の見直しをしていただきたい。

◆議会広報特別委員会

- 委員長 鎌田寛司
- 副委員長 佐藤禎宏
- 委員 藤枝善則
- 委員 原田幹夫
- 委員 佐藤道昭